



HBM NOBAS 3.1m グレーダ (BG-110)



HBM NOBAS
BAUMASCHINEN

▲前方に小ブレード、センターに3.1mのブレード、後方にリッパ等フル装備した仕様
■全長：8,993mm ■全高：3,140mm ■ブレード長：3,050mm ■運転荷重：12,000kg



▲操作レバーは、国内メーカー機と同じ配列に変更し、ミラーウインカー、ライトについても変更、強化しています。



オプション



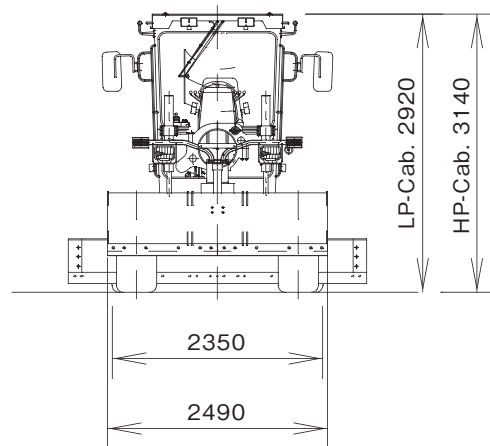
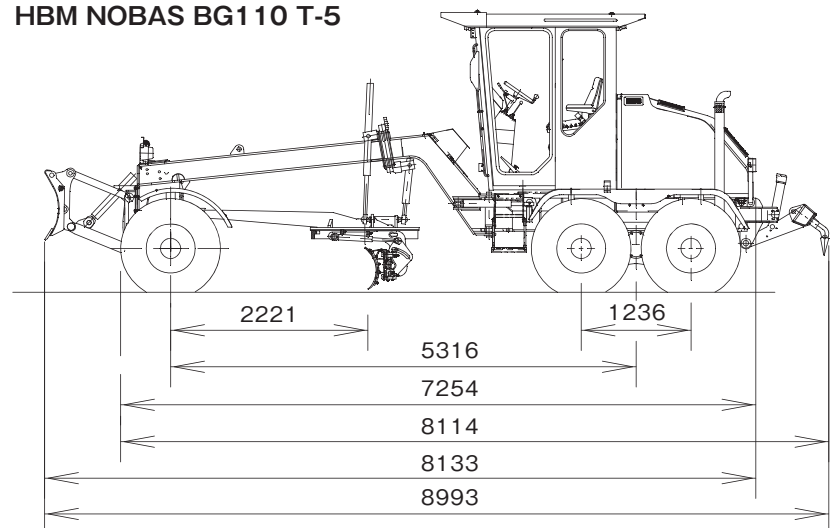
▲ 前方 ブレード

※標準仕様機は、センターのブレードのみ。前方ブレードと後方のリッパ等は、オプションとしてお選びいただけます。



▲ 後方 リッパ

HBM NOBAS BG110 T-5



※各寸法は、メーカー仕様のフル装備時の寸法です。国内仕様とは異なります。

現場に最も近い立場で「建設機械」を考える

— 海外機 3.1mクラスのモータグレーダを販売・レンタル開始 —

排ガス規制による販売中止の影響

建機メーカーでは、排ガス規制の強化をきっかけとして、製造機種グローバル化を図り、国内市場で使われる小型クラスへの対応を後回しにした感がある。

今回採り上げたブレード長3.1mクラスのモータグレーダも、2013年10月末をもって国内での生産が一旦終了した。

小型に分類されるこのクラスは、市町村道の路盤整備や除雪など幅広い用途があることから、現に保有している道路土木会社やレンタル業者では老朽機の入替えができないことが一つの不安材料となっている。

しかし、日本の需要台数は少ないため、大手メーカーではなかなか開発に取り組めない事情もある。国際化にともない日本のマーケットにあったきめ細かなサービスやニッチな商品が後回しにされる傾向は今後も続くものと考えられる。

ユーザーとメーカーの間で

建機レンタルは、本来メーカーに力を借りることが多い。メンテナンスの面や関連する技術情報など、様々な協力を受けている。

一方、メーカーに追従するだけでなく、ユーザーと直接係る立場からそのニーズを基に独自商品の開発や海外商品の導入を進めるなど、永年にわたり培ってきたレンタルならではの技術力と情報力を活用して現場の課題解決のための努力も続けてきた。

代替機として海外機に注目

そして今回の問題については海外に目を向け、調査検討の結果ドイツのHBM-NOBAS社の小型グレーダを試験的に輸入した。(T-4)

その施工能力だけでなく、安全性、居住性、そして整備メンテナンスの面や「情報化施工」への対応など、社内各分野の専門スタッフを動員してテスト・調整を行ってきた。

試乗会を開催、生の声を聞く

さらに今年に入り、全国各地で試乗会を開催し、実際にこのクラスのグレーダを保有・使用されている道路会社の機械担当者やオペレータの方から生の声を集めている。

操作レバーは国内機と同じ配列に変更し、ウインカーやライトについても左側走行用に変更。また、前部のブレードの状況を確認できるようにミラーを取り付けている。

その上で、前部のブレードや後方のリッパなどは海外仕様のまま操作具合や想定できる用途など具体的に率直な意見や要望を聴取できた。

今秋からレンタル開始

この10月から欧州基準Stage III B、米国基準 Tier4(i) のエンジンを搭載した後継機種 (BG110 T-5) を導入し、「少数特例 2011年基準同等適合車」として、受注販売とレンタルの両面で営業展開している。

HBM-NOBAS モータグレーダ 試乗会



(写真は、いずれもBG110 T-4型です)

今年の2月から全国6ヶ所、延べ260名の方々に実機での試乗や作業性能を確かめていただいた。また、アンケート方式で、同クラス機の需要や機械自体の操作性、オプションの前方ブレードや後方のリッパに関するご意見、ご要望等をお聞きした。今後の販売・レンタル活動に役立つ情報が集まった。

【お問合せ先】



広報宣伝室

〒542-0083 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-11-17 心斎橋NTビル3F
TEL: 06-6253-0824 FAX: 06-6252-0899